

医療法人創和会 SDGs宣言

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」の精神を自社の企業活動に取り入れ、社会課題の解決による豊かな未来の実現に貢献してまいります。

2023年10月1日
医療法人創和会
理事長 重井 文博

SDGsへの取り組み

SDGs



テーマ

地域医療

働きやすい職場

地球温暖化防止

自然環境保護

社会貢献

取組事項

「腎疾患・透析医療」を中心に、住み慣れた地域、通い慣れた医療機関で医療が受けられるように、腎透析の地域包括ケアシステム構築とへき地医療支援病院及びへき地診療所の支援を行います。

病気や障がいがある職員も働きやすい職場づくりを推進します。2023年現在2.3%(16人)の障がい者雇用率について、法定雇用率が2.7%に引き上げられる2026年には2.8%(22人)の達成を目指します。

「重井医学研究所附属病院」に2006年設置のソーラーに加え、自己所有の遊休地に2024年春にソーラーを新設し、病院の電力使用量の15%をソーラー発電がカバーします。また、2024年秋開院の「しげい腎クリニック早島」にも、電力使用量の30%以上を賄う想定ソーラーを新設します。

「重井薬用植物園」による種の保存、「倉敷昆虫館」の記録標本など、環境保護に注力するとともに、観察会等のイベントを通じて自然保護や自然科学を多くの人に興味を持って貰えるよう活動します。

1978年の「重井医学研究所」開設から、一貫して腎臓疾患の病態解明を目指して研究を継続していきます。また、倉敷市羽島の「健康増進施設はあもにい倉敷」では、住民の健康と文化、教育の拠点の役割を継続して担います。

2030

地域の絆を念頭に、地域になくはない存在を目指します

SDGsとは

SDGsとは「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称で、2030年を目処に、社会が抱える問題を解決し、明るい未来をつくるための17の目標と169のターゲットに整理したものです。

SDGsは、2015年9月に国連において、加盟国193か国の全会一致で採択された国際目標です。

SUSTAINABLE GOALS

